



「新邸」(no.114)に掲載

ニコ設計室
〒167-0043
東京都杉並区上荻1-16-3 森谷ビル6階
TEL&FAX.03-3220-9337
e-mail: niko@niko-arch.com
URL: https://www.niko-arch.com



「K邸」(no.106)に掲載

aooydesign/アオイデザイン
神奈川県横浜市神奈川区
e-mail: info@aooydesign.com
URL: https://aooydesign.com



「I邸」(no.100)に掲載

KONARA HOUSE
〒253-0008
神奈川県茶ヶ崎町芹沢4114-7
TEL.0467-81-4563 FAX.0467-81-4569
e-mail: ogata@konarahouse.jp
URL: https://www.konarahouse.jp

西久保毅人 Taketo Nishikubo

1973年・佐賀県生まれ。'95年・明治大学理工学部建築学科卒業。'97年・同大学大学院修了後、象設計集団勤務。'98年・アトリエハル勤務。2001年・ニコ設計室設立。
作品●2015年「Matthews邸」no.83に掲載、「18年」[新邸]no.114に掲載、「20年」[木元邸]no.123に掲載(以上東京)など

- ① 吉阪隆正。人間や生物、地球から環境、建築までひとつながりに世界を見渡す視点と、言葉や思想が好き。彼に影響を受けた象設計集団の設立者、雷田玲子、樋口祐康、大竹康市の言葉にも大きく影響を受けた。
- ② 阿部 勤の「中心のある家」。内装したことはあるが実際にしばらく住んでみたいと思う。
- ③ 住み手に似合う。威張った住まいでない。街とつながりの生まれる住まいである。土の地面をできるだけ残す。植物をたくさん植える。ごろんとなれる。いろんな床の高さがある。半外部空間。

行き止まりがない。

- ④ 今だけでなく未来を想像できること。住まいは10年、20年経ってもたいして変わらないが、家族のかたちは大きく変わる。その時々家族のかたちに柔軟に対応でき、未来を想像できる住まいが良いと思う。
- ⑤ 「つぼノート」というアナログなスクラップブックを宿題として作成してもらおう。建築にかかわらず家族が好きなもの、嫌いなもの、趣味など、なるべく建築と関係のない情報もどっくばらんに教えてもらう。
- ⑥ 6~10軒 ⑦ 120~150万円 ⑧ 350万円~ ⑨ 設計契約後1年半~2年 ⑩ 全国、海外 ⑪ 6名



青山茂生 Shigeo Aoyama 隅谷維子 Yukiko Sumitani

青山茂生/1969年・石川県生まれ。'93年・武蔵工業大学(現・東京都市大学)卒業。'93~'98年・現代建築研究所勤務。'98~2003年・シーラカンスK&H勤務。'03年・aooydesign設立。
隅谷維子/1973年・大阪府生まれ。'99年・大阪大学大学院修士課程修了。'99~2001年・シーラカンスK&H勤務。'01~'07年・ジェネラルデザイン勤務。'07年~・aooydesign共同主宰。
作品●2019年「K邸」no.106に掲載、「20年」[M邸]no.115に掲載、「21年」[S邸]no.124に掲載(以上東京)など

- ① 西沢立衛さん。ユニークなコンセプトはもとより、それを具現化するところが素晴らしい(青山) 前職場のジェネラルデザインの大堀 伸さん。コンセプトやダイアグラムが建築設計の主流だったころ、感性を主体としたセンスに引かれた(隅谷)
- ② Alvar Aaltoの自邸。スケール感と素材の経年変化を体感したいから(青山) 画家、Georgia O'Keeffeの自邸。壮大な立地、土着

的な素材と、O'Keeffeの人生観で満ちた空間を体感したい(隅谷)
③ 行き止まりにならないような動線計画、細切れにならないようなプランなど、おおらかな空間計画。白い箱ではなく素材感のある空間で、経年で味わいが増す素材使い。
④ ○○風のような時代性のあるデザインではなく、時間が経っても飽きがこず、個性的というよりは生活の背景として、月日を重ねるごとに深みや愛着が増すような住まい。
⑤ イメージする写真や依頼してくれた理由、好きな店やブランド、趣味やライフスタイル、所有しているものの量などを聞かせてもらう。場合によっては自宅を見せさせてもらう。
⑥ 3~4軒 ⑦ 木造110万円~、RC造160万円~ ⑧ 総工事費の13% ⑨ 初回打ち合わせからプレゼン1~2カ月、基本設計2~3カ月、実施設計3~6カ月、見積もり調整2カ月、施工8カ月 ⑩ 全国 ⑪ 0名



小形 究 Kiwamu Ogata 小形美栄子 Mieko Ogata

小形 究/1975年・東京都生まれ。'93~'95年・カナダで建築やインテリアを学ぶ。'95~2012年・神奈川県内のハウスメーカー勤務。'12年・KONARA HOUSE設立。
小形美栄子/1974年・神奈川県生まれ。ガーデンデザインやディスプレイ、フラワーアレンジメントなどを行う。フラワーアレンジメントのインストラクターを経て、2012年~・KONARA HOUSE共同主宰。
作品●2009年「小形邸」no.96に掲載(神奈川)、「17年」[A邸]no.112に掲載(東京)、「18年」[I邸]no.100に掲載(神奈川)など

- ① Roman and Williams。ヴィンテージでありながらも現代の要求に答えたモダンなデザインや、異なるスタイルをミックスさせるセンスが絶妙で常に意識してきた(究) Thomas Pheasant。曲線を使ったデザインや柔らかな空間の作り方に引かれる(美栄子)
- ② 過去に二度訪れたアメリカ・ナンタケット島に立つボートハウスに住んでみたい(究) イギリスにある「ザ スローターズ マナー ハ

ウス]に行ってみた(美栄子)

- ③ 家において一番長い時間を費やすのは家事。ストレスのない家事動線には特に重点を置いている。気持ちの良い季節には外で食事ができるよう、ダイニングと庭のつながりも大切。
- ④ 断熱性能。そのほか家で過ごす時間を心地良くするためには、窓から見える景色や動線、色、香り、そして整理整頓しやすい収納計画が必要。
- ⑤ まずは職業や家族構成、趣味、料理は好きか、ゲストを招く機会が多いかなどを聞く。そして好きなイメージ写真を用意してもらい、写真のどの部分が好きかヒアリングする。
- ⑥ 新築3軒、リノベーション10軒 ⑦ 130万円~ ⑧ 総工事費の10% ⑨ 初回打ち合わせからプレゼン1カ月、基本設計1カ月、実施設計2カ月、見積もり調整1カ月、施工6カ月 ⑩ 全国 ⑪ 10名

